

学校の風景⑱ 7月3日（月）～7日（金）

■ 7月3日（月）～6日（木）進路学習「高校の先生に学ぶ」3年



3年生を対象に、私立高校、公立高校普通科・職業科・総合学科の教員を講師として招き、各学校・学科の特色についての説明会を行いました。

3日は帯広大谷高校・帯広南商業高校、4日は帯広農業高校・帯広三条高校、5日は帯広工業高校・白樺学園高校、6日は清水高校が担当し、各校の学校生活の様子や、学習内容、特色、進路先などをスライドや動画を交えて説明しました。

生徒たちは、各校の説明や質問等により自らの進路選択に必要な情報を集めていました。



■ 7月3日（月）緑園中エリアファミリー会議

「エリア・ファミリー」（本校、森の里小学校、開西小学校、帯広幼稚園、帯西幼稚園、つばさ保育所、みのり保育園、開西児童保育センター（学童）、森の里児童保育センター（学童）の9団体）の代表による会議が、森の里小学校を会場に行われました。今年度は、感染症対策による制約が緩和されたことを受け、改めて交流を充実させながら、連携していくことを確認しました。

緑園中エリアファミリー

緑園中学校、開西小学校、森の里小学校、帯広幼稚園、帯西幼稚園、つばさ保育所、みのり保育園、開西児童保育センター、森の里児童保育センター

【目指すエリアファミリー像】

小中連携を軸とし、幼・保・学童と「目指す子ども像」を共有するエリア
・9年間～15年間を見越した教育課程、中1キック、小1プロブレムの解消

学校と家庭が共通理解を深め、課題解決に向けて協力するエリア
・家庭教育支援の充実、地域連携の強化、地域・SSS、市民協会の活用

地域の教育力を活かし、協働しながら、地域や社会の負担に応えるエリア
・情報の発信と交流、社会に開かれたエリア、地域ボランティアの活用、CSの導入

【目指す子ども像】

知	徳	体
<ul style="list-style-type: none"> 基礎知識をもち、主体的に学習に参画できる子ども 学習のまじりの定着 効果的なノートづくり 主体的な学習の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣が身に付き、頑張る生活ができる子ども 挨拶、礼儀、正しい言葉遣い、挨拶言葉、挨拶の習慣化 礼儀を重んじる態度の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムを守り、自ら健康維持ができる子ども 早起、早寝、朝ごはんの定着 けがや怪我の知識、理解 健康維持の習慣
<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせ、読書習慣の定着 基礎的な読解力 コミュニケーション能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学習し、正しく、思いやりのある行動ができる子ども 学校の生活の理解 インターネットやSNS等の利活用の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に体を動かし、スポーツを楽しむことができる子ども 運動の習慣化 身体の成長改善

令和2年1月 策定

緑園エリア 学びの約束
(緑園中学校、開西小学校、森の里小学校)

【学習について8つの約束】

- 授業の始めと終わりのあいさつをします。
- 名前を呼ばれたら返事をします。
- 次の学習の準備をしてから休み時間になります。
- チャイムがなったら学習を始めます。
- ノートははいていない読みやすく書きます。
- 正しい言葉づかいを心がけます。
- 机やふでいれの中はいつも整頓しています。
- 話を聞くときはしゃべらず、しっかり相手を見て聞きます。

緑園中学校エリア・知って安心安全マップ

子ども110番の家指定協力場所です

- コンビニ
- 危険
- 不審者注意
- 交通量が多い
- 交差点、危険
- 夜間静い

緑園中学校エリア・ファミリー像の概要、緑園中・開西小・森の里小の連携、つばさ保育所・みのり保育園、開西児童保育センター、森の里児童保育センター、地域の教育力を活用し、協働しながら、地域や社会の負担に応えるエリア、情報の発信と交流、社会に開かれたエリア、地域ボランティアの活用、CSの導入

令和2年1月 策定

■ 7月7日（金）おびひろ市民学「帯広の台所事情」3年

市財政課職員を講師に招き、「帯広市のまちづくり」と「財政」についての学習を行いました。

生徒たちは、帯広市の特色、具体的な収入や支出などについて学び、ふるさとのおまちづくりのために、自分に何ができるのかを考える機会となりました。



学校の風景⑱ 7月10日(月)～12日(水)

■ 7月10日(月)「ICTの効果的活用による授業づくり」校内研修

「授業におけるICTの効果的活用」について、愛知県春日井市の学校での取組や、様々なアプリの活用例を参考に、動画や演習を交えて研修を行いました。



テクノロジーや価値観、

生活環境など、急激に変化し続けている社会。その先にある未来を生きる子どもたちへの教育も、刻々と変化しています。よりよい授業を目指して、学び続ける教師でありたい。



■ 7月11日(火)～13日(木) ゴミ拾い登校

いつもお世話になっている地域への奉仕活動として、生徒会主催で行われました。

各自でゴミ袋を用意し、通学路のゴミを拾いながら登校しました。(写真：拾ったゴミを玄関で集めている様子)



■ 7月12日(水)～14日(金) 小中合同体育(森の里小学校へ)



本校2・3年生は、森の里小学校の1・2・4年生と合同で体カテストを行いました。

12日は本校2年生と森の里小学校1年生、13日は本校2年生と小学校2年生、13日は本校3年生と小学校4年生で、いずれも森の里小学校を会場に行いました。

中学生が動き方やコツをマンツーマン

見本となって教え、20mシャトルランではペースメーカーと一緒に走りました。

中学生と一緒にいるだけで、無邪気に喜ぶ低学年児童の姿に生徒の表情はゆるみ、まるで保護者のように気遣い、笑顔で接していました。お別れの時は



小学生に「行かないでー！」と声をかけられ、手を振りながら淋しそうにしている生徒もいました。

ていねいな準備や片付け、素早い整列、元気のいいあいさつに、小学生はあこがれの眼差しでした。そして、先生方も感心していました。生徒たちは、普段の中学生としての学ぶ姿、そして普段とは違った保護者のような姿の両方を見せていました。

